



No.458

平成19年(2007年)

4月号

広報

金武

人口のうごき

総人口 10,996人 (13)
男 5,428人 (8)
女 5,568人 (5)
世帯数 4,651戸

(各区分人口) 平成19年2月末日現在

金武4,777人 (-5) 転入 46人
並里2,694人 (10) 転出 35人
中川 936人 (6) 出生 12人
伊芸 925人 (-1) 死亡 10人
屋嘉1,664人 (3) 結婚 5件
離婚 0件

() 内は増減を表す



完成!! ジャンボタコライス

関連記事 2 ページ

金武アクティブ体験フェスタ

金武アクティブ体験フェスタが二月二十四日、金武アクティブパークで行われました。カヌー・漆喰シーサー・三線などの体験に加え、定置網体験や船釣り体験、特産品試食コーナーやお笑い・県内ミュージシャンのライブなど多彩なプログラムでイベントが行われました。

イベントの目玉としてジャンボタコライスづくりが行われました。会場にいるお客さんも参加し、ごは

ん200kg、タコミート120kg、チーズ20kg、レタス50kg、トマト60kg、総量450kgのジャンボタコライスを作りました。1300食が振舞われ、参加者も見学していた方もおいしそうに食べていました。

夜には金武アクティブミュージックフェスタと題した第1回アマチュアバンドコンテストが行われ、参加6組から「ヌチ」と高校生バンド「MIXBOX」が予選を勝ち抜き12月の決勝大会に出場がまっています。



第十九回並里区公民館まつりが二月二十五日に行われました。

今年一年の各種団体の活動写真や作品展示、フラワールレンジメント体験や講演会、並里方言紙芝居「オランダ森とエーグぬ話」などが行われました。

今年は新たに小学校新一年生になる四七名にランドセル贈呈式が行われ自分と同じぐらいの大きさのランドセルを贈られた子どもたちは記念撮影をする姿が見

並里区公民館まつり

られ、早く学校へ通いたいと笑顔を見せていました。



クリーンふるさと大発見！

三月三日、町青年団協議会主催でクリーンふるさと大発見が行われ、三回目となる今回は、金武中学校生徒と各地域の青年会約一七〇人で地域のゴミを拾いました。

町内の国道や公園等のゴミが拾われ、燃えるゴミ二二八〇kg・燃えないゴミ二二〇kg、全体で五〇〇kgのゴミが回収されました。仲間研二会長は「地域の子どもたちと交流し地域の

良さを発見することが目的にしている。一緒に活動することでお互いの今後の活動に繋げ、地域を盛り上げていきたい。また、自分たちが住む町のゴミを拾うことで『ゴミは捨てずに持ち帰る』という意識をもってもらいたい」と語っていました。

活動後は、青年会が用意したカレーライスを食べ交流を深めました。



第2回 金武町バスケットボールフェスティバル結果表

金武町体協力 バスケットボール部	68	金武町同好会OB
	101	石川教員
	66	琉球リハビリテーション学院
	72	52 宜野座村体協
	69	金武町体協力バスケットボール部

第二回バスケットボールフェスティバルが、三月三・四日金武町立体育館で開催されました。

一日目に審判講習会、小・中学生を対象にした技術講習会が行われました。

二日目は試合が行われ、金武町体協バスケットボール部が石川教員チームを破り優勝しました。MVPは金武町体協バスケットボール部の大濱敦彦さんです。結果は次のとおりです。

バスケットフェスティバル



学校でいろいろなことを学んでいます

中川小学校

三月八日、心の教育「お茶会」が中川小学校体育館で行われました。

全校児童、幼稚園児九二名と日頃学校行事でお世話になっている老人会の皆様をご招待し、「お茶」の礼儀作法を学び、交流を深めながら文化と礼節に触れることを目的に実施されました。

三年生の君は「幼稚園の時にこのお茶会で礼儀作法を習いました。あの時より大きくなった今また習うことができて嬉しんです」と感謝の意を述べました。



金武小学校

金武幼稚園・金武小学校全校生徒を対象に空手世界チャンピオン清水由佳選手の講演会が二月二十七日に行われました。仲井真進校長と交互に空手の演舞を交えながら、「夢は自分で決めるもの。学校生活に夢を見つけるヒントがあり、授業が必ず役に立つ。学校生活を大切にするのが夢を叶えることにつながる。つらい時や淋しい時に支えてくれたのは友達。学校生活も友達も大切に」と語りました。



嘉芸小学校

音楽アウトリーチ事業弦楽四重奏が、三月十四日嘉芸小学校六年生を対象に行われました。

大きなホールとは違い学校の音楽室で行われたのでバイオリンやチェロの演奏を間近で鑑賞しました。

演奏だけでなく作曲家や楽器の説明に加え、なかなか触れることのない弦楽器を弾いてみるという貴重な体験ができた授業になりました。



ジャガイモ収穫

町内の保育園児を対象に秋にうえつけたじゃがいもの収穫が福祉農園で行われました。

スコップでジャガイモをほり、泥だらけになりながら抱えきれないほどのじゃがいもを収穫していました。収穫したじゃがいもの大きさを比べ、園児の声が農園に響きわたっていました。





ネイチャーみらい館（仮称）

近年、エコツーリズム、自然体験学習などが新たな観光産業として、全国的に注目が高まっております。本町は、町民の皆様もご周知のとおり、億首川流域に、マングロープが自生し、野鳥、水辺の生き物等が棲む豊かな自然が息づいており、県内でも大変すばらしい景観に恵まれた場所です。この貴重な地域資源を活用し、自然体験・地域文化体験など多様な学習活動ができる拠点として、『ネイチャーみらい館（仮称）』を億首川河口近く（山工毛）に建設し、県内外からも集客を図り、地域活性化に向けた取り組みを行います。主な施設として、『ふるさと体験交流棟・・・三味線及び琉舞や町の伝統芸能の体験や発表の場として利用する。管理棟・・・事務室、展示室、視聴覚室、図書コーナーなどに利用する。体験実習棟・・・紅型、陶芸や琉球料理の体験できる場として利用する。』などイラストにあるような施設を整備します。

管理運営については、地方自治法の改正により、平成18年9月より指定管理者制度が導入され、今後、公共施設は、町が運営するか法人等が運営するかの、どちらかを選択しなければならなくなりました。この施設は、指定管理者制度を活用し、町内の法人等を対象に公募を予定しています。

工事着工についてお知らせ

- ※・件 名：ふるさとづくり整備事業ネイチャーみらい館（仮称）建設工事
- ・工 期：平成19年2月20日～同年7月31日まで（一期工事：名称が青字）
- ・内 容：シャワー及びロッカー棟、多目的ピロティー棟、ふるさと体験交流棟、艇庫棟の4施設で鉄筋コンクリート平屋（1階建）

○工事については、一期工事、二期工事で計画されています。全ての建物が完成するのは平成20年3月を予定しています。

○工事期間中は、地域の方々や農家の方々に、大変ご迷惑をお掛けするかと思います。ご理解とご協力をお願い致します。

お問合せ先

金武町役場 基地跡地推進課 098-968-3236

子どもたちに花をプレゼント!!

― 農業青年クラブ ―

金武中学校卒業式を目前に控えた三月八日、農業青年クラブが花を寄贈しました。

「花を送ることで新たな出発の伝いができれば、これからも続けていきたい」と宮里貴光会長。

新しい門出を迎える卒業生に激励の意味を込め、毎年卒業式シーズンに町内の各小中学校に抱えきれないほどの花を寄贈しています。



第28回 子ども祭り

三月十一日、金武町立中央公民館で「やんばるに集え! わらばー達!」今こそ見せ場だ! というテーマで平成十八年度第二十八回子ども祭りが沖縄県子ども会育成連絡協議会主催で行われました。

会場では、活動写真展示や子どもたちが手作りを用



意したゲームコーナーが設けられていました。午後には舞台発表が行われ、各市町村子ども会の実践発表や演奏、演舞が披露されました。

義足のランナー

島袋さん公演

金武町学力対策向上委員会主催による義足のランナー島袋勉さんの講演会が三月六日、中央公民館大ホールで行われました。

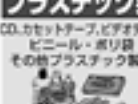
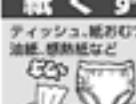
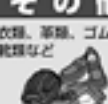
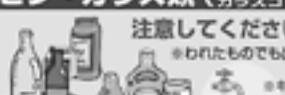
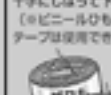
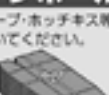
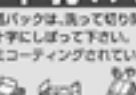
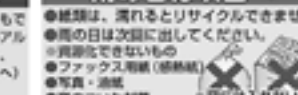
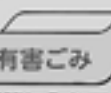
島袋さんは二十歳で会社創業し、平成十三年四月アメリカのIT事業視察の帰り千葉県船橋にて踏切事故に遭い両下腿

切断、両足切断・記憶・視力の障害を負いました。突然自分の身に不幸なことが起こり、絶望の淵に立たされましたが、両足義足で馬拉ソンを走ることはできないと言われながらも平成十六年十一月に三キロトリム馬拉ソン初挑戦し、同年十二月(四二・一九五キロ)ホノルル馬拉ソンに挑戦しました。自分の体験から出来ない事を探すのではなく、出来る方法を考えようという前向きに考え、誰に無理だと言われてもけしてあきらめないことが不可能を可能にすると語っていました。





 金 武 町
ごみの正しい分け方・出し方

もやせないごみ 口は、必ずしばって下さい。  透明なビニール袋に入れて出して下さい。	生ごみ 自宅から出る野菜くず、残飯など  ※分別容器に入れて出すこと。	プラスチック類 CD、カセットテープ、ビデオテープ、ビニール・ポリマー、その他プラスチック製品  ※ペットボトルは、資源ごみへ	食用油  ※牛乳パックなどに調製油を詰め、漏れこませてから出して下さい。	紙くず ティッシュ、紙おむつ、油紙、紙ナプキンなど  ※ラップ等はトイレに流して下さい。	草木類 観葉植物、草・葉類など  ※剪定枝、木口材は1m以内の長さに切ってひもで束ねて袋に入れて出して下さい。	その他 衣類、革類、ゴム類、乾電池など 
もやせないごみ ビン・カンを分けて出す  ビン カン	ビン・ガラス類（飲料用ビン・化粧品などの容器） 注意してください。 ※われたものも出すことはできます。  ※キャップやふたを割って一箇所に集めてから出して下さい。	カン類（ビン・ガラス以外のもやせないごみ）  コーラ、ジュースの空き缶 金属類（やかん、なべ、ハンガーなど）	スプレー缶 カセットコンロのボンベ、殺虫剤、ヘアスプレーなど  ※スプレー缶は、完全に使い切った直後の扱いで穴を開けてから出して下さい。			
資源ごみの分別 ペットボトル類 口は、必ずしばって下さい。  透明なビニール袋に入れて出して下さい。	右のマークのあるものだけ出す。 ※リサイクルするペットボトルには、ラベル部分やボトルの底にこのマークがつけられています。 ※マークがない容器や食用油（ドレッシング・ソース）、洗剤・シャンプー・化粧品などの容器は、もやせるごみへ。 	ペットボトル 飲料用・調味料用（しょう油みりんの容器）   ※フタをはずして水洗いして出して下さい。  ※たばこなどの異物が入っているとリサイクルできません。				
古紙類 種類別によらず、紙のもので十割にしばって下さい。（※ビニールひも、ガムテープは使用できません。） 	新聞紙 新聞紙・チラシ類 	本類 漫画本・週刊誌・文庫本 図書・菓子箱等 	ダンボール テープ・ホッチキス等は除いてください。 	牛乳パック 紙パックは、洗って切り刻み、ひもで十字にしばって下さい。（中身がアルミコーティングされているものは、もやせるごみへ） 	雨の日は次回へ ※紙類は、濡れるとリサイクルできません。 ※雨の日は次回に出してください。 ※資源物ではないものは、もやせるごみへ ※写真・油紙・紙のついた封筒・カーボン紙類 ※紙には入れないで下さい 上記のものは、もやせるごみへ 	
有害・危険ごみ 有害ごみ  カゴ等に入れて出して下さい。	蛍光灯・電球 	カッター、カミソリ、包丁、ノコギリなど 	電池・ライター・体温計等  ●蛍光灯・電球・ニカド電池（充電式）・ボタン電池など可能な限り販売店へ			

ごみ収集日	区 域	一 区 ・ 二 区	浜田・新聞地・中川区
	区 分	三 区 ・ 四 区	伊 芸 区・屋 嘉 区
	もやせるごみ	月・金	火・土
	もやせないごみ	水	木
	資 源 ご み 有害・危険ごみ	第 3 土 曜 日	第 4 土 曜 日

搬入できるもの（粗大ごみ）

大型家具等
 (タンス・椅子・棚・ベッド・机・畳・流し台
 ストープ・ガスコンロ・石油コンロ等)

粗大ごみの搬入

粗大ごみは、金武町ごみ処理場に搬入して下さい。
粗大ごみ以外は、搬入できませんので、ご協力
よろしくお願い致します

※粗大ごみを捨てる場合は許可証が必要です。町民であることを確認できる証明書（免許証等）を持参の上、金武町役場 環境係までお願いいたします。

※もやせるごみ（一般家庭ごみ・雑草・家具等も1m以内にすれば焼却炉へ）。

※空き缶・ガラス・ピンは清掃センターへ搬入してください。

※資源ごみの自己搬入はできません。必ず町内の一般廃棄物許可業者にお申し送り下さい。

ごみの搬入時間	清掃センター (日曜日は休み)	もやせるごみ 月・火・金・土 (午前8時30分～午後4時) 水・木 (午前8時30分～午後12時)
		もやせないごみ 水・木 (午前8時30分～午後4時)
	金 試 町 ごみ処理場	粗大ごみ等 毎日 (午前8時30分～午後5時) (祝日含む)

小型家電等

(ラジオ・炊飯器・トースター
ステレオ・扇風機等)



自転車・三輪車



■ 家電4品目

家電リサイクル法により、テレビ・冷蔵庫・洗濯機・エアコンは販売店に引き取ってもらってください。



※リサイクル料金、収集運搬料金が
必要となります。

產婦產物

(個人で簡易的解体作業による廃材も含む)



パソコンのリサイクル (有料)

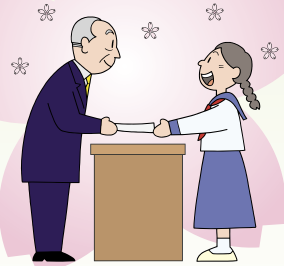
パソコンを購入したメーカーに連絡申し込んでください。

卒業式スナップ集

3月の暖かな日差しに見守られ、町内の小中学校で卒業式が行われました。

金武中学校112名、金武小学校81名、嘉芸小学校29名、中川小学校14名の児童・生徒が卒業し、希望を胸に抱き誇りに満ち溢れた顔で慣れ親しんだ学び舎から旅立ちました。

▶ 中川小学校卒業式



◀ 金武小学校卒業式



▶ 嘉芸小学校卒業式



◀ 金武中学校卒業式



編集後記

町青年団協議会が主催した「第三回クリーンふるさと大発見」の取材に行きました。青年と中学生と一緒に地域のゴミを拾い、交流を深めるという事業でした。

大量のゴミが集められ、すごいというよりもびっくりしました。私たちの住む町にはこんなにもゴミが落ちているのかと。言い方を変えると、何百キロというゴミを捨てる人がいるということです。

反省会にも参加させてもらいました。学校側からも参加していて、「青年会と一緒に活動できてよかった・これから連携をとって一緒に地域活動に繋がりたい・地域の子とも達と触れ合ういい機会だった」というような意見がでました。印象的だったのは「ゴミ拾いを一緒にしたが、その半面でポイ捨てしていた自分がいた。今までの自分を見つめ直しゴミがなくなるまちづくりができれば」という意見でした。

以前にもゴミについて描いたことがあります。当たり前のことですがゴミを捨てないことが、住みよい町になると思います。

